



2024年も 学びの場拡大中!



高野山大学

89

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

1. 高野山大学公式ホームページの[高野山大学の概要]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申込みください。
2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。  
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

【注意事項】

1. 講演料(手取り額)  
60分 ¥20,000  
90分 ¥30,000  
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。  
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。



こちらのQRコードからもアクセスできます。))

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や遠隔授業の本格的取組などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は  
○大学の設備・備品費などの諸経費 ○地域との連携事業の経費  
○合理的配慮の支援  
などに活用させていただきます。  
高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。  
皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援をこそよりお願い申し上げます。  
この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。  
ご連絡をいただきました方には、大学から、  
○寄付申込書 ○寄付金振替用紙 ○返信用封筒  
をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。  
皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】

今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

2024年度 入学者選抜概要

選抜(入試)日程(密教学科・別科)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅲ期(一般・寺院後継者)	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
総合型選抜Ⅲ期(書道)	事前説明会12/1(金)~1/11(木)		
一般選抜Ⅰ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
一般選抜Ⅱ期	令和6年2月9日(金)~2月28日(水)消印有効	3/9(土)	3/15(金)
一般選抜Ⅲ期	令和6年3月4日(月)~3月16日(土)消印有効 窓口受付は3月18日(月)午後4時まで	3/23(土)	3/25(月)
社会人選抜Ⅱ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
編入学選抜Ⅱ期/社会人編入学選抜Ⅱ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
編入学選抜Ⅲ期/社会人編入学選抜Ⅲ期	令和6年3月4日(月)~3月16日(土)消印有効	3/23(土)	3/25(月)
留学生選抜Ⅱ期/留学生編入学選抜Ⅱ期	令和6年2月9日(金)~2月28日(水)消印有効	3/9(土)	3/15(金)
別科選抜Ⅱ期 密教専修コース	令和6年2月9日(金)~2月28日(水)消印有効	3/9(土)	3/15(金)

選抜(入試)日程(教育学科)

※合格発表は本人宛郵送。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅲ期	令和6年1月11日(木)~1月27日(土)消印有効	2/10(土)	2/15(木)
一般選抜Ⅰ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
一般選抜Ⅱ期	令和6年2月9日(金)~2月28日(水)消印有効	3/9(土)	3/15(金)
一般選抜Ⅲ期	令和6年3月4日(月)~3月18日(月)消印有効	3/23(土)	3/25(月)
社会人選抜Ⅱ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
編入学選抜Ⅱ期/社会人編入学選抜Ⅱ期	令和6年1月9日(火)~1月24日(水)消印有効	2/3(土)	2/9(金)
編入学選抜Ⅲ期/社会人編入学選抜Ⅲ期	令和6年3月4日(月)~3月18日(月)消印有効	3/23(土)	3/25(月)
留学生選抜Ⅱ期/留学生編入学選抜Ⅱ期	令和6年2月9日(金)~2月28日(水)消印有効	3/9(土)	3/15(金)

大学院(通学制)選抜(入試)日程

※密教学専攻、仏教学専攻

通学制	出願期間	試験日	合格発表
大学院選抜Ⅱ期 修士課程(博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース) 博士後期課程	令和6年1月26日(金)~2月16日(金) 消印有効	2/24(土)	3/1(金)

大学院(通信制)選抜(入試)日程

※密教学専攻

試験種別	出願期間	一次審査発表	二次面接		二次合格発表
			2/24(土)	3/1(金)	
大学院選抜Ⅱ期(通信教育課程)	令和6年1月8日(月)~1月22日(月)消印有効	2/1(木)	2/24(土)	3/1(金)	
科目履修生	令和6年1月15日(月)~2月15日(木)消印有効		選考結果通知日		
			3/1(金)までに本人へ通知		

試験の詳細は大学ホームページから)



# 密教学科の学びを「J」からでも オンライン学習導入の密教文化コース

密教学科では、オンライン学習を中心に学ぶことができる密教文化コースを今年度から開設しています。

これまで、オープンキャンパスに参加した方や公開講座に参加した社会人の方から、「密教学科で勉強したいが遠方に住んでいるので通学はできない」「できれば大学院通信教育課程で勉強したい」と思っているが、内容についていけないか心配」といった相談がありました。そこで本コースは仕事や生活などさまざまな理由で密教を学びたいという思いを持ちながらも高山山までの通学が困難な社会人を対象として開設し、今年度は関東在住の方を中心に55名が入学しました。

本コースでは教室での対面、Zoomによるリアルタイム配信、オンデマンド配信の3形態で受講することが出来ます。オンライン学習が導入されたことにより、ウェブ上の学習管理システムから講義資料のダウンロードやレポートの提出、好きな時間に視聴できる講義のオンデマンド配信など新しい取り組みが始まっています。今夏実施したアンケートでは、「仏教を独学で勉強するのは難しく、先生の解説や説明を受けられるので入学してよかったです」、「課題は大変で、講義が難しいこともありますが、日常に活力が生まれました」と勉強に励んでいる受講生からのコメントもありました。

教室やオンラインでの講義のほか、「仏教美術入門」、「梵字悉曇」といった実践を伴う集中講義も実施。11月に高山キャンパスで行った「密教瞑想法」の講義には約30人が参加し、阿字観を実践しました。複数の教員がリレー形式で講座を行う密教文化講座を8月～9月にかけて開催し、高山キャンパスと難波サテライト教室で本学の客員教授ら8名が特別講

義を行いました。また密教文化講座はコース生以外にも一般の方の聴講も受け付け、いずれの講義も会場、オンラインで多くの方に参加いただきました。今後本コースでは受講生の皆さんに密教を学ぶ楽しさを提供していきたいと思えます。

## オープンキャンパスのお知らせ

密教文化コース入学希望者を対象としたオープンキャンパスを2月11日(日)に難波サテライト教室で開催します。オンライン配信も実施予定です。プログラムなど詳細はホームページでお知らせします。



11月に行われた講義「密教瞑想法」の様子

# 秋の陽気に包まれて 学園祭「曼荼羅祭」

11月4日(土)に高山山大学学園祭「曼荼羅祭」を高山キャンパスで開催しました。行道部による御朱印配布や教育学科の模擬店、ジェラーのキッチンカーなどの出店や書道部、仏画受講生の作品展といった恒例の催しに加えて高山山高校空手部による演武披露、声優の保志総一朗さんによるトークショーも催されました。

教育学科の学生による模擬店には子どもたちが来店し、学生たちに見守られながら輪投げや射的で遊びました。茶室では茶会も開かれ、参加した人はお茶とお菓子をいただきました。茶道部の学生から茶器や生け花の説明を聞いていました。トークショーには遠方から来られた方も含め約100人が来場。終始温かい雰囲気にも包まれたイベントとなりました。三連休の真ん中だったこの日は高山山内も多くの観光客が行き交い、季節外れの暖かい日差しと相まって終始にぎやかな日となりました。



# 令和5年秋の叙勲 藤村隆淳先生が受章

令和5年度秋の叙勲で、本学名誉教授の藤村隆淳先生が瑞宝中綬章を受章されました。藤村先生は昭和42年に本学文学部仏教学科を卒業。その後大学院文学研究科に進学し、昭和47年に博士後期課程(仏教学専攻)を満期退学しました。同年より本学文学部仏教研究室の臨時助手を2年間務めた後、専任助手、講師、助教授を経て平成2年に教授に就任。その後平成19年に学長に就任し、退職後の平成23年4月に本学名誉教授となりました。

研究分野では仏伝文学である『マハーヴァスツ』の研究に取り組んでこられました。これらの研究は学位請求論文『マハーヴァスツ』の菩薩思想」として申請し、愛知学院大学より博士(文学)の学位が授与され、山喜房仏書林より『マハーヴァスツの菩薩思想』として出版されました。日本仏教の分野では弘法大師御誕生千二百年記念事業として大学内に発足された統真言宗全書刊行会で『統真言宗全書』の編纂員および主任編集員として、編集を担当しました。また、日本密教学会理事、密教研究会理事、日本仏教学会理事などの各種学会活動や高山山真言宗布教研究所員、高山山真言宗階級考委員を務め真言宗僧侶の育成にも尽力。これらの業績に対し真言宗各派総本山会より密教学共賞を授与されました。

# 4年ぶりに高山山東京別院で開催 高山山大学フジキン小川修平記念講座講演会

10月7日(土)に高山山東京別院で「第18回高山山大学フジキン小川修平記念講座講演会」を開催しました。新型コロナウイルスの流行に伴い第15回～17回は動画配信形式となったため、会場での開催は4年ぶりとなりました。今年度は会場の都合により100名程度の定員となり、当日の飛び込み参加を含め多くの方にご来場いただきました。本講演は大学ホームページでも映像を公開予定です。

## ■第18回講演会

【講演1】「空海の死生観―生の始めと死の終わり―」

土居夏樹先生(高山山大学教授)

【講演2】「日本人の自然観・死生観を考える」  
佐伯啓思先生(京都大学名誉教授)



高山山大学 学長  
添田 隆昭

## 祖山と本学の現況

新年あけましておめでとうございます。皆様お健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。不順な天候が続いておりますが、皆様、如何お過ごしでしょうか。昨年のお正月は積雪60センチ、気温はマイナス10度を超える日が続き、スキーシーズンが引き上がるロープウェイが雪のために持ち上がり、支えている輪から外れて運転不能となり、運行されるべき代替バスも道路が通行不能。新聞も届かず、宿泊者も下山できないという事態となりました。また夏には線状降水帯が発生し、東小田原通りから一の橋に至る道路が冠水し、奥の院御供所前が御廟橋を越えた雨水により川のようになりました。さらに山上は、オーバートリズムという言葉が囁かれるほどの外国人観光客で溢れ、宿坊も商店も人手不足に悩まされております。

さて、本学の密教学科は近年30人の入学定員を満たしておりますが、寺院後継者よりも一般家庭からの入学者の方が多く、新しく社会人向けに開設した密教文化コースにも、予想を大きく上回る55人がお越しください。多くは40～50代を中心とした社会人でありました。交流を深めております東京大学先端科学技術研究センターの教員の中には、本校の授業に興味を持ってくださる方もおられ、教員一同、この期待に背かぬよう精進して行かねばならないと考えております。一方の教育学科は、依然として就職勤務に対する逆風が収まる気配がなく、懸念しております。

## 自由な全面発達のための自己教育



教育学科特任教授  
山田 正行

私は一九七三年に入学すると駒場の教養課程で学びつつ帝大セツメントを継承した亀有セツメントで実践し、地域教育文化運動の意義をエンピリカルに知る。本郷の専門課程に進むと社会学を専攻し、社会のシステムと個人の主体形成を統合する実践論を卒業論文にまとめた。

大学院では社会学を専攻し、自由な全面発達のための自己教育としての社会学教育をアクション・リサーチ的に研究。特に社会の諸領域において有形無形に交錯する上意下達的な機能を受けて下意上達の方性に転じ、人間化し、主体化する宮原誠の「再分肢」教育論を以て、フィールドを生産労働に、対象をQCサークルなど職場の自律的作業集団のノン・フォーマルな学習に設定し、それをイン・フォーマルなOJTとフォーマルなOffJTに関連させて調査した。

ユネスコで提唱された生涯教育はユーゴスラヴィアの自由な全面発達のための自主管理やアンドラゴジー（人間教育）の影響があるためベオグラード大学に留学し、デジヤン・サヴィチウィチ教授、ランコヴラトヴィチ助教授の指導を受ける。彼らは若輩の私に「ディスカッションしよう」と対話的で、職場の自律的作業集団の生産性に関心を向け、双方に有意義な自主管理の共同研究が期待された。ベルリンの壁が崩壊し、ユーゴスラヴィアでは内戦が勃発し、体制が崩壊。親友の外交官、ネナード・ブルキッチはドナウ川で水死体となって発見され（死亡理由は不明）、私は平和の重要性を深く鋭く実感させられた。

また実践倫理としては下村湖人や鈴木健次郎の「白鳥蘆花に入る」、「煙仲間」を学ぶ。これは宮原以来の東大社会学の伝統であり、要旨は次のとおり。

前者：蘆が密生する湖面、白銀の穂波がまばゆく光る。純白の鳥が青空から舞いおり、白い穂に包まれ、姿は見えなくなるが、湖面を泳ぐと、白銀の蘆原がそよぎ出す。

後者：村の仲間が囲炉裏で輪和になり、みな衆のためにと熱く語り合ひ、散会した後、囲炉裏の火は消え、煙が昇るだけになつても各人の心中に熱い炎は燃え続ける。それが弱くなる頃、仲間が再び輪和になり、熱く語り合ひ、新たに炎を燃え上がらせる。語り合った場に居続けてはならない。そこはもはや煙だけ。熱き炎を内に秘め、外に出て、その燃焼エネルギーを有効活用せねばならぬ。そして、このような仲間が歳月とともに老いて煙のように消え去っていくが、その成し遂げたことで村は発展していく。

いずれも「秘すれば花」の実践。

秋田大学に助教として転任すると鈴木博士の精神「鈴木イズム」が地域に根づいていることを知る。実際、宮原と秋田の社会学実践者との関係は深く、東大で研究したことを秋田で練成できた。しかし過疎化と産業構造の変動により生産労働が低調になつており、正に地域の活性化が課題となつていく。

また、ナチズムと教育の問題を卒業研究とする学生に、私自身が知識不足の故に共同研究の姿勢で指導する中で自由な全面発達を阻害する最大の暴力は戦争であることの認識を深めた。それとともにホロコーストの象徴であり、文化遺産と自然遺産の複合遺産である「アウシュヴィツ」を基軸にした博物館活動の平和教育を実践し、ポーランドから勲章十字勲章を授与される。

大阪教育大学に転任すると人権教育について啓発され、盛田嘉徳の中世の被差別部落の生成に関する研究カードを整理紹介している。

高野山大学では空海の教育思想を研究し、理性に反する「非理性性」ではなく超越する「超理性性」にアプローチし、「十住心」論に即して個人の発達と思想の発展の相関性を追究している。ここを研究の遍歴の到達点とした。



密教育学科 教授  
土居 夏樹

弘法大師空海（七七四―八三五）の思想を研究する際、二つの視点からアプローチすることが出来ます。一つは「弘法大師の思想はどのようにして形成されていったのか」という視点であり、もう一つは「弘法大師の思想は後世どのように理解されていったのか」という視点です。前者は、インド密教・チベット密教も視野に入れつつ、中国仏教、そして日本仏教の展開の中から弘法大師の思想を見ていくという研究、後者は伝統的・学問的・宗教的・社会的な展開を追いかけ、研究になります。

弘法大師の代表的な思想として知られる即身成仏や法身説法は、中国仏教や南都仏教の中でもしばしば議論になってきた思想です。例えば、弘法大師の「即身成仏義」では、その冒頭の発端問答（「諸経論の中に皆三劫成仏と説く」）や、「菩提心論」からの引用（「真言法の中にのみ即身成仏するが故に」）によつて、即身成仏の思想は密教独自の思想であることを主張しています。しかしながら大師当時、この身のままで、言い換えるならば生まれ変わることなく、仏陀に成るといふ思想は、天台宗や華嚴宗においても議論されてきました。もちろん大師はそういった諸宗での議論を「存じだつた」と思います。にもかかわらず、大師が即身成仏を密教独自の成仏論に定めたということは、大師の提唱する即身成仏の思想が、それら諸宗の成仏論とは違つて

## 弘法大師の思想研究とその課題

いるからにはかなりません。それでは、大師の即身成仏思想とそれら諸宗の成仏論とはどのように異なっているのでしょうか。

この問題を考えるために、まず諸宗における成仏論を把握しておく必要があることと、言うまでもありません。中国の天台宗や華嚴宗では、「法華経」「提婆達多品」の龍女成仏や「華嚴経」「入法界品」の善財童子を、即身成仏や「生成成仏」として解釈する例が見られます。それらの解釈が日本、特に南都仏教や伝教大師最澄の中でどのように論じられていたのか、という点を確認することで、弘法大師が即身成仏思想をどのように形成し、特徴づけていったのかを明確にすることが出来るのではないのでしょうか。

また、弘法大師以後の真言宗では、天台宗の密教導入や浄土教・禅宗の流行などの影響もあつてか、「真言宗独自の即身成仏とは何か」という議論が盛んになつていきます。それら伝統的・学問的・宗教的・社会的な展開と、真言宗で継承されてきた事相の流派と教学の接続という問題も、重要な関心事になつていきます。そういった議論を一つひとつ丁寧に追いかけていくことで、弘法大師の思想が真言宗の伝統教学の中でどのように解釈されてきたのか、さらにはそういった議論と真言宗の実践論とがどのように関連づけられ得るのか、ということを確認することが出来るでしょう。

弘法大師までと弘法大師から。この二つの視点の中心には、私の研究課題である弘法大師の思想があります。弘法大師の思想を、思想史・教学史の中から見つけていくことを通じて、現代という時代における弘法大師の思想の価値や意味を考え、発信していくこと。それが今という時代に弘法大師の思想を研究する者の課題であると考えています。

### 密教育学科／密教文化コースオープンキャンパス

高野山キャンパスでは、7月9日(日)と8月20日(日)にオープンキャンパスを開催しました。高校生とその家族、社会人の方など2回合わせて約60人の方に、ご参加いただきました。

学科紹介、模擬講義、試験に関する説明の後、学生ガイドによるキャンパスと壇上伽藍の見学ツアーを行いました。30度を超える真夏日の中でしたが、参加者の皆さんは水分補給もはさみつつキャンパス内の図書館や大菩提院、そして根本大塔を散策し、熱心に学生の解説を聞いていました。個別相談会も多くの方に、ご参加いただき、高校生からは試験科目や得度についての相談、密教文化コースの受験を考える社会人の方からも受講方法などについて質問を受けました。

密教文化コース希望者が対象のオープンキャンパスは10月22日(日)に難波サテライト教室で開催。会場、オンライン合わせて約50人にご参加いただきました。こちらも模擬講義、入試説明の後に個別相談会を設け、出願手続きに関する質問や仕事と勉強の両立といった心配事の相談があり、それぞれの生活スタイルに合わせた学び方についてお話ししました。

密教文化コース希望者向けのオープンキャンパスは、2月にも開催予定。今後とも入学受験を希望する方の不安や疑問を解消できる場を設けていく予定です。



学生ガイドによる壇上伽藍見学ツアー

### 教育学科 オープンキャンパス

今年度、教育学科では11月までに計9回のオープンキャンパスを開催しました。高校生とご家族を始め、社会人の方にもご参加いただきました。

オープンキャンパスでは、学科紹介、入試制度説明、模擬講義、個別相談、キャンパスツアーなどを実施。模擬講義は毎回、工夫を凝らして楽しみながら学ぶことが出来る内容としており、羊さんとの触れ合いや、参加者同士のグループワークなど、参加された保護者の方からも「毎回、本当に楽しみにしています。子どもだけでなく、私もここで学びなおしたいくらい。」との感想をいただきました。

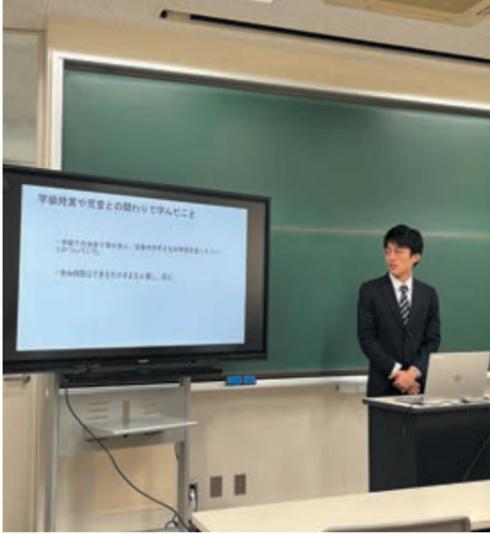
さらに今年度は、このオープンキャンパスを通じ、参加者の皆様が本学在學生と交流する機会となるよう企画しました。参加高校生と在學生との座談会や、在學生による学校保育現場体験・地域体験発表などを実施し、これにより、参加者の皆様には、本学入学後のリアルな学生生活をイメージいただくことができたのではないかと思います。参加者の皆様からは、「実際の大学生活の話が聴き、イメージが深まった。」「学生から直接、学校保育現場体験や地域体験で得た学びについて聴くことができて良かった。」などの声をいただきました。

オープンキャンパスの様子は、本学科インスタグラム等、各種SNSで公開しています。ぜひ一度ご覧いただき、当日の雰囲気を感じていただくとともに、さらに多くの方に次回(3月16日)の本学科オープンキャンパスに参加いただこう、ご紹介いただければ幸いです。

### 教育実習報告会

11月7日(火)2限に高野山大学河内長野キャンパスにおいて、教育実習の報告会が開かれました。これは「教育実習の研究Ⅰ」の授業の一環で、9月から10月にかけて河内長野市内や大阪府茨木市内の小中学校で教育実習を終えた3年生7名が「教育実習で学んだこと」を報告しました。当日は教職支援センターの教員や教育学科の他の教員、実習校の校長数名も参加しました。

学生達は小学生との接し方や、授業を行う上での学びなどを報告。報告後の質問の時間には、1、2年生で実施された学校・保育現場体験との関わりを問う質問が出されました。ある学生は、「1、2年生の時に小学校現場での体験があったので、あまり緊張することなく実習に臨めました」と答えていました。また、ある校長は「実習生がずっと休み時間、子ども達と鬼ごっこ等をして交流を深め、授業にも積極的に臨んでくれました。別れの日には2年生の子どもの多くが涙を流し、うれしく思いました」と感想を述べられました。



高野山大学  
密教学科・教育学科  
オープンキャンパス

教育学科  
密教学科・密教文化コース

会場:河内長野キャンパス  
会場:難波サテライト教室

3/16(土) 1/14(日) 2/11(日)

詳細・申し込み方法はホームページで随時お知らせします。

9月				8月				7月																				
29金	25月	23土	20水	18日	17日	16土	13水	9土	2土	30水	24木	22火	21月	20日	12土	11金	7月	6日	4金	29土	23日	17月	15土	13木	10月	9日		
後期受講登録変更期限	後期授業開始(密教) 3ターム講義開始(教育)	後期授業開始(密教) オープンキャンパス(河内長野)	大学院通信1期(一次面接) オープンキャンパス(河内長野)	秋分の日	報恩日(教育)	敬老の日	学位記授与式 WEBオープンキャンパス(高野山)	個別相談会(教育)	個別相談会(教育)	高野山特別講演会(3日) 特別編入学(教育)	通信秋期スクーリング(13日) 保護者懇談会	前期授業終了																
12月				11月				10月																				
25月	22金	21木	16土	13水	3日	2土	30木	27月	26日	23木	21火	19日	18土	4土	3金	31火	22日	21土	20金	14土	10火	9月	7土	7土	7土	7土		
年内授業終了	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日	報恩日

日録 令和5年7月~12月

第96回学位記授与式



第96回学位記授与式を9月13日(水)に高野山キャンパスで挙行了しました。

今年度は大学院修士課程密教教育学専攻(通信教育課程)3人が修了。式典に出席し、添田隆昭学長から学位記を授与されました。

添田学長は式辞で「弘法大師の存在は人が持つて居る全体像や可能性を示している。在学中はいろいろなことを勉強されてきたと思うが、修士としての学問的業績、それ以外にもその全体像や可能性を知ってから卒業してほしい。そして今後も学びを続けてほしい」と述べ、修了生を代表して、原千賀子さんが「大学院通信課程はひとりでの学習が中心でしたが、先生方からのご指導に支えられ、スクーリングの実習や仲間との交流で良い刺激を受け、生涯学習や学びなおしの場として非常に有意義な経験でした。貴重な経験を今後の人生で必ず生かしていきます」と答辞を述べました。

宗教教育行事

**夏季集団加行**  
夏季休業期間中に、真別処円通律寺内事相講伝所加行道場において令和5年度夏季集団加行が行われました。今川泰伸和上に伝授阿闍梨をお勤めいただき、行者たちは約50日間の修行に専心しました。今季の行者は男子5名(4回生2名、2回生2名、1回生1名)でした。

**伝法灌頂**  
10月31日(火)から11月3日(金)の間、大本山寶壽院道場において伝法灌頂が開壇されました。添田隆昭阿闍梨に随い、四度加行を成満した学生たちが伝法灌頂に入壇しました。

今年度の入壇者は男子7名(4回生6名、3回生1名)でした。

**追悼法要**  
11月21日(火)に松下講堂黎明館で「高野山大学教職員並びに先輩物故者追悼法会」を厳修いたしました。法会中は壇上に過去帳と御位牌を安置し、本学教職員並びに先輩物故者の追善菩提、学内安穩、および学生たちの学業成就を祈念いたしました。また、今年4月に御遷化された松長有慶元学長の御位牌の開眼作法も、併せて厳修されました。

法会中は曲理趣三昧にて執行し、法会後は奥之院御廟と大学墓所へ参拝いたしました。



寄付金御礼

(2023年6月~10月) \*順不同

高畑 公信様	百万円	加藤 敏仁様	三万円
高瀬 春子様	十万円	紺田 昌隆様	二万円
中村 義博様	十万円	西岡 由紀子様	一万円

全国の皆様から寄付金を頂戴いたしましたこと心から感謝申し上げます。大学の教育・研究活動に有効に活用させていただきます。今後とも引き続き皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

メディア掲載

2023年7月22日(土) 読売新聞夕刊「月刊大学」  
2023年10月13日(金) Webメディア「LIVS」社会貢献活動 x Koyasan Univ.  
2023年10月31日(火) 「KUKA」空海密教の宇宙~vol.6~

告知

奈良国立博物館の特別展に学術協力として参加します。  
生誕1250年記念特別展  
「空海 KUKA」密教のルーツとマンダラ世界」  
【会期】2024年4月13日(土)~6月9日(日)  
【会場】奈良国立博物館

前谷彰(恵紹)教授 最終講義のご案内

今年度ご定年を迎えられる、前谷彰(恵紹)教授の最終講義(密教学科主催)を左記の日程にて開催いたします。事前申し込みは不要です。是非ともご参加ください。

【講題】反仏教学  
【日程】令和6年1月25日(木) 午後3時00分  
【会場】高野山キャンパス2階・201号教室

メールアドレスの登録にご協力ください

高野山大学では、同窓会員や卒業生の皆様にメールアドレスの登録をお願いしています。登録いただいた皆様には、入試やオープンキャンパスをはじめとした学内行事の情報を不定期でお送りします。

メールは下記のQRコードから作成・送信ください。

※いただいた内容は大学から皆様への情報発信にのみ使用させていただきます。

